

事業所名

クロスファン

支援プログラム(参考様式)

作成日

2025 年

3 月

6 日

法人(事業所)理念		発達の遅れなど、一人ひとりのお子さまの特性に合わせた支援を行い、子供たちやご家族の「心の居場所」を目指します。							
支援方針		多職種が連携し、お子さまの特性に合わせた支援を行います。 何事も「楽しむ」ことを大切にし、そのなかでお子様の強み(ストレングス)を引き出します。 遊びを通して「体を動かすこと」「ルールを守ること」「お友達と協力すること」を自然と取り組める環境をつくります。							
営業時間		火～金	11 時	0 分	19 時	0 分	送迎実施の有無	あり	なし
		土・祝	9 時	0 分	17 時	0 分			
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達やスタッフとの関わりを大切にし、安心して過ごせる環境を整えます。 ・宿題・課題など、子供が一人で取り組みたい場面では別室を用意し、集中して取り組めるよう支援します。 ・帰宅時間や次の予定などはイラストやタイマーを使って視覚的に理解できるよう支援します。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外での遊び(砂場・木登り等)を通して運動感覚やバランス感覚を養います。 ・室内にボルダリングを設置し、指先や全身の巧緻性を高め、体幹機能の向上を支援します。 ・週に1回(火曜日)、オンラインでの運動プログラムを実施し、友達と協力したり時には競い合うなど、意欲を持って取り組めるよう支援します。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・来所時の荷物確認や降所時の忘れ物確認など、スタッフから「忘れ物はないかな?」と声掛けを行うなどして子供自らが考えて気づき、行動できるよう支援します。 ・四季を感じるイベントや行事の開催をし、季節の移り変わりや景色の変化など、普段の何気ない日常のなかから変化を感じ取れるようなアプローチをします。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・子供同士のトラブルなどがあったときはお互いの意見や気持ちを聞く時間を設け、自分の考えや思うことを相手に伝える練習をしていきます。 ・言葉による言語コミュニケーションだけでなく、絵カードやジェスチャーを使った非言語コミュニケーションを用いて子供たちが円滑にコミュニケーションを図れるようにします。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びのなかで「ルールを守ること」「人の嫌がることはしないこと」など、社会性を身につけていけるように支援します。 ・物事を決めるときや、トラブルの際などは子ども同士が話し合う場を設け、自分の意見を言葉にしたり、相手の気持ちを聞く時間をつくります。 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・電話やSNSツールなどを使い、ご家族が連絡しやすい環境を整えます。 ・事業所で月に1回、発達検査(WISC-V)が受けられます。検査結果をもとに、ご家庭や学校と事業所が同じ方向をみて支援が出来る環境となっています。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・家族様から相談を受けやすい体制を整え、お子様の進学等に関して具体的な移行先が決まれば必要に応じた対応・調整を行います。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・年一回の地域マルシェに出展しています。また、地域組合の役員にも入っているため、地域でのイベント(近隣で行われるお餅つき等)や清掃活動にも参加しています。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の社内研修に加え、月に1回の独自の法人ネットワークによる 	
主な行事等		春→花見 夏→スイカ割り・水遊び 秋→地域マルシェ 冬→クリスマス会・子ども忘年会(豚汁作り) その他→インクルーシブフットサル大会(ハーフタイムカップ)・森ノ宮医療大学主催インクルーシブイベント(CONNECT) 等							